

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
骨折実技（下肢2）											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	瀧下 晃洋			実務 経験	有	職種	柔道整復師				
授業概要											
部位別に具体的な外傷の整復・固定や治療に至るまでの注意事項を学びます。											
到達目標											
下肢の各骨折について発生機転・症状・合併症・続発症・考えられる後遺障害などを理解し、柔道整復師として必要な判断からの施術、そして施術後の指導管理に至るまで知識と技術を身につけることを目標にしている。											
授業方法											
教科書を基準に実技・実習を進める。実技授業中の整復法や固定法の習得に関してはクラス内の学生をグループ分けにより班編成をして、患者役や施術者・助手役に分かれ、指導担当者からの指導により実際の対応に近い形で進めていく。学生自身が将来必要とされる患者への説明技術を向上させることでinformed consentの能力も育成する。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。実技であるため白衣未着用であったり、爪の手入れ不足などの不衛生な状態での授業参加も認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書は「柔道整復学・理論編」、「柔道整復学・実技編」を持参する。その項目ごと固定具を使用する。											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション 授業概要										
第2回	松葉杖の使い方										
第3回	骨盤骨骨折										

骨折実技（下肢2）

第4回	骨盤骨骨折
第5回	大腿骨近位端部骨折
第6回	大腿骨骨幹部骨折
第7回	大腿骨遠位端部骨折
第8回	7週までの振り返りと確認演習
第9回	膝蓋骨骨折
第10回	下腿骨近位端骨折
第11回	下腿骨骨幹部骨折
第12回	下腿骨疲労骨折
第13回	下腿部実技
第14回	13週までの振り返りと確認演習
第15回	まとめ